

生活環境部取り組み（事業）の推移

年度	リサイクルデー（再生資源回収）	ク リ ー ン デ ー	そ の 他
22	・回収場所：拠点（8か所）回収から ごみステーション＝53か所＝回収に変更 利便性の向上、生活環境班長さんの負担 大巾軽減（荷受け、積み込み）		・ごみステーションネット取換え、修理 外注（材工一括発注）から自治会（ネ ットのみ購入、施工は自治会で実施） ＝経費の大幅削減 1 個所 23,000 円⇒7,000 円
23	・回収場所：ごみステーションから 各戸前に変更 ・雑がみの回収強化		・エコキャップ回収運動スタート 23～30年累計回収量1600kg （ユニセフを通じて発展途上国子ども 達へのワクチン提供800本）
24	・弥生小、やよい幼稚園の再生資源 回収開始	・参加者配布の飲料の購入先変更 年間費用35万円⇒10万円	・「さんだりサイクルコミュニティ賞」 受賞（1世帯当たり年間回収量が 三田市内トップ）160kg/年・世帯
25	・空きびんの自治会回収スタート		
26		・クリーンデーを通じて子どもたちと 地域の大人の交流① 少年少女野球チーム「FCスターズ」	
27	・古紙類の回収業者買取料金の見直し 2円⇒3円（年間25万円の増収）	・クリーンデーを通じて子どもたちと 地域の大人の交流② 毎年12月のクリーンデーで実施 富士中部活メンバー、弥生小児童	
28			
29		・参加者配布の飲料をごみ袋に変更	・全ごみステーション（53か所）の ネット修理、パイプ受け金具交換
30	・リサイクルデーの統一 弥生全域第1日曜（1・5月は第2日曜） ・古紙類の回収業者買取料金の見直し 3円⇒4円/kg（年間15万円の増収） ・三田市古紙類の奨励金6円⇒4.5円/kg		・犬のふん害対策 『イエローチョーク作戦』スタート 大きな効果＝ふん取り残し大巾に減少
元	・三田市古紙類の奨励金4.5円⇒3.0円/kg		

【今後の課題】

- ① **燃やすごみの分別徹底**＝ごみ袋の中味⇒再生（リサイクル）可能な古紙類20%、生ごみ30%（食品残さ他）
古紙類はできるだけリサイクルデーにお出してください
- ② **燃やさないごみの分別の徹底**＝分別の不備＝未回収取り残し

【燃やさないごみ未回収袋の推移】

【未回収の原因】

22年度	24年度	30年度	空きびん混入	スプレー缶穴明無	可燃物混入	その他	合計
199 袋	83 袋	144 袋	40%	20%	15%	25%	100%

*スプレー缶、ガスボンベには必ずガス抜きをの穴を開けて下さい

*空きびんの出し方の変更：レジ袋等ポリ袋入れ⇒バケツ等の容器入れ出し（異物混入の防止・見える化）

【異臭の問題】＝現在、発生源特定できていません。三田市より神戸市に発生源調査依頼

【3Rの実践でごみの減量化を】

3R（サンアール）とは＝**Reduce Reuse Recycle**

Reduce	リデュース	発生抑制：ごみの元を断つ ごみそのものを減らす	・エコバックの持参（レジ袋の辞退） ・ばら売りや、量り売り ・マイはし、マイカップの利用
Reuse	リユース	再利用：一度使用したものを、もう 一度使う、繰り返し使う	・リサイクルショップ、フリーマーケット ・衣類の兄弟間再利用 ・リターナルびん（使用後のびん洗浄＝再利用）
Recycle	リサイクル	再生資源化：一度使用したものを 形を変えて再生利用	・古紙類、空きびんの回収＝再生利用 ・生ごみや野菜くずのたい肥化